

背景 & 課題

▼この事業の主題（自動車廃材のリサイクルによる資源活用と健常者と障がい者が共に海を楽しむ機会を創出するための事業。）

- * 廃棄車両のガラス等を再資源化し、車いす用のスロープ建設でコンクリートに混入し再利用し施工する。
- * 鼠ヶ関及び西浜に建設したスロープを活用し、障がい者と健常者が共に楽しいバリアフリービーチイベントを実施する。
- * 関係行政等と協働し事業の広報、啓発に努める。

2022年度実施内容のまとめ

実施①体験イベント



8月5日6日17日、9月3日16日21日、障がい者と健常者が一緒にバリアフリービーチイベントでマリナクティビティ等を楽しんだ。

実施②バリアフリービーチの整備



スロープ施工工事

竣工式典

6月初旬より施工開始、鼠ヶ関同様、コンクリートに廃車のガラス・バンパーを粉砕したチップを混入した。そして7月15日に多くの来賓をお迎えし竣工式典を開催した。

量的成果（事業の拡がり）

- ① 遊佐町西浜の竣工式はTV 4局、新聞 2 社、イベントでは新聞 2 社で露出竣工式75名、イベント:約362名、ゴミ拾い:町内会計約380名参加
- ② 海水浴場を持つ鶴岡市・酒田市・遊佐町がメインとなり参加団体も絞られていたが、新たに内陸部の寒河江市、山辺町等の施設が参加した。
- ③ 当該 2 市 1 町その他、山形市等との新たな連携で広報が可能となり、コロナで参加できなかったものの、新たな団体、施設から多くの問い合わせをもらった。

質的成果（次なる展開への芽）

- ① 時田遊佐町長と面談の際にスロープ活用と地域振興について担当課長へ指示があり、進展が期待できる。
- ② 参加団体数が増えた要因は開催を平日にしたことで、施設の事業として実施できるようになったためと思われ、2023年度も継続とする。
- ③ 内陸部であるが県都山形市の理解、連携により他市町にも波及できる要因となり、さらなる事業の啓発・啓蒙を推進していく。

2022年度 課題点

- ① コロナ禍で中止を余儀なくされた参加希望団体が続出した
- ② 竣工した西浜のスロープがコロナ・天候のタイミングが合わず実施できなかった。
- ③ 参加障がい者や施設ごとの状況を把握できず、イベント時に苦慮。

2023年度 改善点

- ① 連絡先等把握しているので、2023年度に参加を促進する。
- ② 当該地域での参加希望施設等へ再度働きかけ、遊佐町と協働し実施に努める。
- ③ 2022年実施の際に指導・教授いただいた案件をクリアし実施。

報告資料①



車いすのまま乗船、大感激の障がい者とご家族

マリナクティビティメニューは、カヤック・ビッグサップ・水上自転車・バナナボート・水陸両用車いす「ビーチスター」等。障がい者とそのご家族も含め楽しいバリアフリービーチを満喫していただいた。



障がい者アattendを実践するスタッフとインタビューに元気に答える障がい者

恐怖心からマリナクティビティに参加できない障がい者に対し別メニューで対応



ゴミゼロウィーク 5月29日鼠ヶ関海水浴場

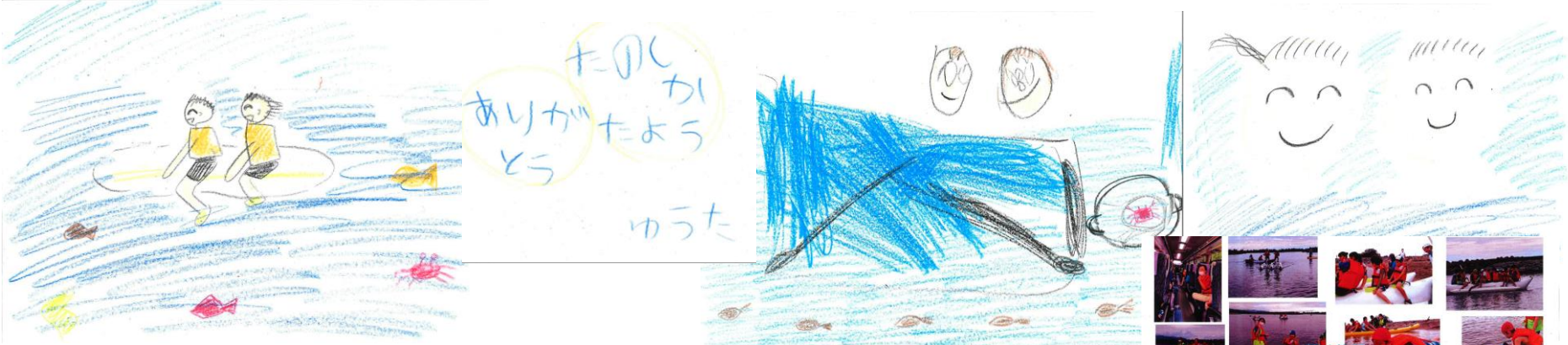


8月2日3日の豪雨により打ち寄せた流木群、イベント開催(8月5日)早朝に撤去作業を行っていただいた、感謝です。



当地の指定管理者様から歓迎ボードの掲示、さらに自治会様からは、かき氷のサプライズプレゼント、施設の皆さん大感激。この事業が地域に認知されていると実感しました。

白杖利用の視覚障がい者から視覚障がい者のためのバリアフリービーチを教授いただいた。今後活かしたい。



放課後デイサービス福祉施設「みんなの空」の児童から



ドリームやまがた里山プロジェクト
事務局長 高橋 雅宣様
スタッフの皆様

ぼけっぴーすの森
村上 理香

拝啓
日に日に秋も深まってきました。ますますご活躍のことと存じます。
先月のバリアフリービーチイベントの際は、手厚いご支援のおかげで、安全で楽しい時間を思い切り過ごすことができました。あんなにダイナミックな自然体験は初めてで、これまでにない特別な思い出になりました。
事務局の高橋様をはじめ、このプロジェクトに関わる全ての皆様、心より感謝申し上げます。
秋冷がかわります折、風邪など多かれませぬよう、皆様の健康とご多幸をお祈りいたしております。
敬具

嬉しかったです。写真を見返すと、みなさんのステキな笑顔がいっぱい・・・職員ともに最高の「夏の思い出」ができました。ありがとうございました。
〇〇の秋、どんな秋になるのかとても楽しみです。私は、食欲の秋！旬の物を沢山食べて毎日元気に過ごしたいと思っています。
びあはうす さとう リリカ

施設発行の機関紙



、マットの上を移動↓↓↓そこからイカダに乗って↓↓↓



節となりました。ハーバリウム作り、おらだと海で行くべ、森がかった9月でした。特に「おらだと海で行くべ」では、

そうして

～編集後記～

びあはうすの活動で9月16日と21日に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として「ドリームやまがた里山プロジェクト」が開催する「バリアフリービーチイベント in 風ヶ関」に参加しました。このバリアフリービーチはスロープで浜辺へ降りることができ、そこから波打ち際までは車椅子で通行できるゴムマットが敷き詰めてあります。私たちが過ごしやすいように大きなテントやベッド、寒さ対策にストーブも用意していただきました。そしてたくさんの方々が笑顔で迎えてくださり嬉しかったです。

車椅子で砂浜を歩けるなんて考えたことがなかったのと、車椅子のままイカダに乗って海へ出るなんてことが出来るとは思っていなかったので、「海で遊ぶ」という楽しみを願うこともせずにあきらめていたというのが本音でした。ところが、里山プロジェクトの方たちがこんなふうに環境を整備して「一緒に海を楽しみましょう」と誘ってくださり、現地のスタッフさんとオンラインで打ち合わせを行いながら準備を整えて今回のイベント参加が実現しました。イカダやカヤック、水上自転車などの海のアクティビティを思い切り楽しめたのは言うまでもありませんが、海の上で感じた太陽や風はそこでしか体感できない特別なものでした。

あきらめたくはないけれど、高すぎるハードルに対しては無意識にそっちを見ないようにしていた自分がいたことに気づきました。想いと想いが出逢うと力は大きくなってハードルは超えられる！叶うことってまだまだあるなあ。
編集担当 むらかみ リカ

バリアフリービーチイベント参加施設の皆さんからお礼のお手紙いただきました。

東田川郡庄内町の協力で、北月山アドベンチャークラブの家族への広報チラシと町施設掲示用ポスター

鶴岡市温海支所関係機関への掲示用ポスター及び鼠ヶ関育成部の家族への配布用チラシ

山形市子ども未来課の協力で山形市内の施設関係等で掲示していただいたポスター設置いただいたチラシ

参加者募集

バリアフリービーチ体験アクティビティ

8/5 金 10:00~15:00

水陸両用の車いす「ビーチスター」

障がい者の皆さんと一緒に海を楽しむユニバーサルビーチ「鼠ヶ関海水浴場」！視覚に障がいを持つ（NPO法人属性）のみなさんがやってきます～楽しい時間を共有し、懇親を深めましょう！

シーカヤック

ベアで水すまし気分「水上自転車」

スロープを降り降り「車いす体験」

応募資格 / 北月山アドベンチャーくらぶ会員とその家族
募集人数 / 30会員（ご家族は除く）
参加費 / 500円/人（障害保険料として）
応募締切 / 7月27日（水）

主催：ドリームやまがた里山プロジェクト
共催：北月山アドベンチャーくらぶ
協力：庄内町 協賛：日本財団「海と日本プロジェクト」

お問合せ 受付
ドリームやまがた里山プロジェクト事務局 山形市十日町3-9-36
☎ 023-666-6967
E-mail: hosoya@highstaff.co.jp / hitomi@hf-project.co.jp

参加者募集

バリアフリービーチ体験アクティビティ

障がい者の皆さんも、海で、海水浴場で楽しく遊べるユニバーサルビーチ！

私たちの地元「鼠ヶ関」の誇りを体験し、県内、いや全国に発信しよう！

応募締切 7月28日（木）

8/6 土 PM1:00~4:00

★水陸両用の車いす「ビーチスター」
★シーカヤック
★ベアで水すまし気分「水上自転車」
★スロープを降り降り「車いす体験」

募集対象 / 中学生1~3年生（ご家族・父兄同伴OK）
募集人数 / 約20名（ご家族・父兄除く）
参加費 / 500円（イベント障害保険料として）

主催：ドリームやまがた里山プロジェクト事務局 山形市十日町3-9-36
共催：鶴岡市鼠ヶ関育成部
協賛：日本財団「海と日本プロジェクト」

お問合せ 受付
ドリームやまがた里山プロジェクト事務局 山形市十日町3-9-36
☎ 023-666-6967
E-mail: hosoya@highstaff.co.jp / hitomi@hf-project.co.jp

ご家族や福祉施設の皆様

ユニバーサルビーチへのご招待！

ドリームやまがた里山プロジェクトでは、2020年より「障がい者の皆様と健常者が一緒になって海や浜辺で楽しもう！」というイベントを実施しております。まさに海水浴場をバリアフリービーチにする取り組みです。

車いすのままの砂浜散歩や補助員付で水陸両用のビーチスターで海へザブーン！！

これまで体験したことのない海との出会いと感動を！

皆さまのご参加、専門スタッフ一同お待ちしております。

実施期間 / 7月15日（金）～8月31日（水）の間（平日可）
●参加希望者の皆様の日程を調整させていただき開催日を決定

定員 / 20名程度（1開催時の定員で、複数回開催もあり）

対象 / 障がい者及びそのご家族、障がい者施設の皆様（施設ごとの参加につきましては用具の同伴要）

場 所 / 鶴岡市鼠ヶ関海水浴場または遊佐町西浜海水浴場
*現地までの移動手段等につきましては事務局にご相談ください。

参加費 / 500円/人 <傷害保険料>

マリナクティビティをたのしもう！

ビーチスター、イカダ、カヤック

主催：ドリームやまがた里山プロジェクト事務局 山形市十日町3-9-36
協賛：日本財団「海と日本プロジェクト」
協力：山形市子ども未来課

お問合せ 受付
ドリームやまがた里山プロジェクト事務局 山形市十日町3-9-36
☎ 023-666-6967
E-mail: hosoya@highstaff.co.jp / hitomi@hf-project.co.jp

山形新聞 7月16日掲載

張り上げ、六回2死か
代打で登場。公式戦の
打席は見逃し振に終わ
スタンドで物乞いに見

この日、鶴岡市の各海水浴場、アイゼンバー、ビーチの竣工



初泳ぎ取りやめ
ソラーン節披露
鶴岡市の鶴岡海水浴場では、雨で地元小学生たちの初泳ぎは取りやめ、関係者が湯野浜遊園地

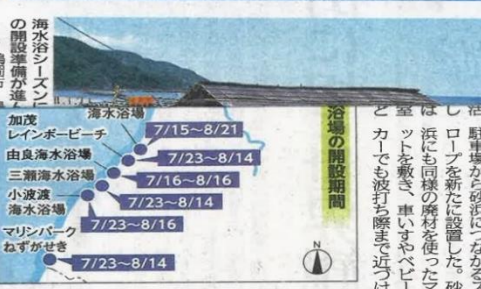
持ち抑え

雨の庄内4カ所
センター「コスバ」で式
鶴岡市長が「新型コロナウイルス」をテーマにしたスピーチを行った。

遊佐町の西浜海水浴場では安全新形式が行われ、同市の善寺の僧侶らが約40人の出席で無事故を願った。地元の子供らも初泳ぎは取りやめ、関係者が湯野浜遊園地

山形新聞 7月14日掲載

海水浴場 3年ぶり全て開設



あすふ
海水浴場は、遊佐町の善寺、大規模で鶴岡宮日をそれぞれ、コロナ禍です。このちろふは、21年は昨年比で開かずの音響、鶴岡の

波打ち際へ
遊佐西浜にスロープ
西浜海水浴場(遊佐町)で、県内では唯一、今年夏、自動車を活用し、パークねがせき(鶴岡市)駐車場から砂浜につながるスロープを新たに設置した。砂浜にも同様の障材を使ったマシットを敷き、車いすやベビーカーでも波打ち際まで近づける。

車いす、ベビーカーでも
波打ち際へ
遊佐西浜にスロープ
遊佐町の西浜海水浴場では安全新形式が行われ、同市の善寺の僧侶らが約40人の出席で無事故を願った。地元の子供らも初泳ぎは取りやめ、関係者が湯野浜遊園地

庄内日報 7月16日掲載

Weather forecast table for various locations including Murakami, Niigata, and Yamagata, showing temperature ranges and weather conditions.

きょうのニュース・話題
「始動力が地域を盛り上げる」 青山社中の朝比奈さん 酒田で講演
「由良海水浴場 海開き特集」 / 「酒田南高校特集」
「食べて地元栽培の大切さ実感」 鶴岡産小麦の中継誌 鶴岡市内の学校給食で提供
「夏の高校野球 羽黒がベスト8 進出 他3試合は雨天順延」



自動車を活用し、車いす利用者が活用しやすくなる。遊佐町の西浜海水浴場の新形式は、遊佐町の全各所へ。体が不自由な人、高齢者が活用しやすいように、障材が活用しやすくなる。障材が活用しやすくなる。障材が活用しやすくなる。

車椅子にやさしいスロープ完成
遊佐町 西浜 海水浴場オープンに合わせお披露目
遊佐町の西浜海水浴場に、車椅子が活用しやすいように、障材が活用しやすくなる。障材が活用しやすくなる。障材が活用しやすくなる。

庄内日報 7月16日(土) 発行所 庄内日報社 本社 〒997-0005 電話 0234(22)1481(代表) 0234(22)2633(編集) 0234(22)2633(印刷) 0234(22)2633(編集) 0234(22)2633(印刷) 0234(22)2633(編集) 0234(22)2633(印刷)

本社代表 TEL:0234-22-1480 購読のお申し込み TEL:(0234)-22-1481 広告のお申し込み TEL:(0234)-22-1479 FAX:(0234)-22-2633 印刷のお申し込み TEL:(0234)-22-1724 編集のお問い合わせ TEL:(0234)-22-1482 FAX:(0234)-22-1427 ホームページ http://www.shonai-nippo.co.jp/

鯉川 清酒 別荘は和風になってから 鯉川酒造株式会社

庄内日報で里山Pの総会 4月28日掲載

和4年)4月28日(木曜日)

酒井家からの拜領品と本間宮 狩野典信や谷文晁の絵画

酒田 本間美術館

庄内藩御家人からの拜領 蝦夷地とも交易した。5代 老、鶴岡」は鶴岡の絵画。伝来のもの。絵画は「酒田の歴史」は酒田の歴史。私財をばらけ、鶴岡を支援する。長子庄内藩を支えてきた。今回の展示は酒井家内入部400年記念事業の関連企画。庄内藩からの拜領品。

酒井家

酒井家の祖は、相模国出身で、豊後時代末期に酒田に移住したと伝えられている。

酒田本間美術館は、酒田市の中心部にあり、酒田藩の歴史を伝える。酒田藩の歴史を伝える。酒田藩の歴史を伝える。

バリアフリービーチのエリア拡大啓発

里山Pの総会、本年度事業計画を承認した。本年度もバリアフリーイベントを西浜、宮庭で開催する。

本年度もバリアフリーイベントを西浜、宮庭で開催する。本年度もバリアフリーイベントを西浜、宮庭で開催する。

山形新聞 8月7日掲載

海 安心して遊べる幸せ

鶴岡 障害者やその家族らに海水浴を楽しむんでもらうバリアフリーイベントが5日、鶴岡市鼠ヶ関のマリンパークねすがせで開かれ、約50人が真夏の海を満喫した。家族で海に来るのは初めてという親子もいて、水しぶきと笑い声が浜辺に飛び交った。

視覚障害者でつくるNPO法人輝色(山辺町)の関係者約20人を迎えた。浅瀬で水遊びしたり、パドルで進む大型のボードに乗ったりと、イベントのスタッフにサポートされながら思い思いに楽しんだ。「やっと連れてきてあげられた」。親子で参加した森谷信子さん(49)山形市は「ほろ喜んだ。小学生の子もたちにとって初めての海水浴。

鼠ヶ関・バリアフリーイベント

夫婦共に弱視で「海は何が起きるか分からない。自分たちだけでは目が行き届かない怖さがあった」。シユノケルをしてはしゃぐ子どもたちの様子に、笑みを浮かべた。輝色の理事長多田祐也さん(50)も中途の視覚障害者で、約10年ぶりの海に入った。「見えていないと、水中で足が浮く感覚も怖い。大勢に見守られ、安心して楽しめる機会はありがたい」と語った。

日本財団の助成で同海水浴場にスロープを設けた市民団体「ドリム」やまたが里山プロジェクト(山形市)が企画。北月山アドベンチャーくらぶ(庄内町)も参加し、交流した。



バリアフリービーチイベントで海水浴を楽しむ参加者
―鶴岡市・マリンパークねすがせ

親子ら 笑顔いっぱい

(三浦光晴)

庄内日報 8月7日掲載

体の不自由な人と健常者協力 海を楽しむ「バリアフリービーチ」



体の不自由な人、健常者が協力して海を楽しむ「バリアフリービーチ」が5日、鶴岡市マリンパークねすがせで開かれた。

視覚障害者やその家族らに海水浴を楽しむんでもらうバリアフリーイベントが5日、鶴岡市鼠ヶ関のマリンパークねすがせで開かれ、約50人が真夏の海を満喫した。家族で海に来るのは初めてという親子もいて、水しぶきと笑い声が浜辺に飛び交った。

視覚障害者でつくるNPO法人輝色(山辺町)の関係者約20人を迎えた。浅瀬で水遊びしたり、パドルで進む大型のボードに乗ったりと、イベントのスタッフにサポートされながら思い思いに楽しんだ。「やっと連れてきてあげられた」。親子で参加した森谷信子さん(49)山形市は「ほろ喜んだ。小学生の子もたちにとって初めての海水浴。



TUYテレビユー山形 7月15日オンエア



YBC山形放送 7月15日オンエア



YTS山形テレビ 7月15日オンエア



SAYさくらんぼテレビ 7月16日オンエア

7月15日に開催した遊佐町西浜海水浴場のバリアフリー車いす用スロープ竣工式が地元テレビ局4局から取材を受け、同日及び翌日にニュース報道され、県内で話題となりました。